

被災した歴史的建造物の修復を通じた専門技術者の育成手法検討調査

■調査実施地域:茨城県桜川市 等 ■調査実施者:一般社団法人「茨城県建築士会」

■ 調査の目的

歴史的なまち並みを維持するために、実際に被災した茨城県内の歴史的建造物の改修工事を題材とした実地研修を通じて、技術の伝承と技術者育成に関する効果的な手法の検討を行い、被災時に対応できる歴史まちづくりの人材の不足といった課題に対応する取り組みを促進し、歴史的風致の維持向上を推進することを目的とする。

■ 実施内容

- ・茨城県内における歴史的建造物の調査及び修復の技術をもつ専門技術者等の実態把握
- ・東日本大震災において顕著な被害が生じたまち並み（地域）の文化財等の被害状況や解体に至った件数等のデータ収集、自治体担当者へのヒアリング調査と課題の整理
- ・「いばらき地域文化財専門技術者育成研修2012」の中での、実際に被災した歴史的建造物の調査・改修工事・補強工事の現場実習
- ・研修参加者を対象に、技術者育成に関する効果、課題、改善点などのアンケート調査
- ・映像教材（DVD）の製作→実際に被災した歴史的建造物の修復過程、研修参加者（一般建築士）の視点を踏まえた作業時の特徴やポイントを解説付きで映像に記録
- ・県内の桜川市真壁地区と千葉県香取市佐原地区で現在実施されている改修工事の手法を比較分析、工法の特徴を整理
- ・被災時における人材情報のネットワーク化に関する必要性と課題
- ・茨城県内各市町村への被災時の支援方策
- ・関東甲信越ブロック内の関係機関及びヘリテージマネージャー全国支援組織と被災時における専門技術者の派遣等連携方策
- ・文化庁との連携による継続的な技術研鑽の方策
- ・講座の一部を活用し、グループごとに歴史的建造物の保存・活用等の提案を実習形式で実施
- ・所有者や管理者・行政との調整を行なうコーディネーターの必要性・課題・問題点の整理

■ 結 果

- ・現場実習を多く取り入れた研修により、歴史的建造物の修復過程や伝統工法の特徴を学ぶことが出来たが、育成研修終了後も更にステップアップできるような研修を展開していくことが必要である。
- ・「いばらき地域文化財専門技術者育成研修2012」をスタートさせるにあたり、計画当初から茨城県教育庁文化課の協力支援を受け、県内支援ネットワークのフローは構築できた。今後は茨城県内歴史的建造物の所有者及び市町村文化課の担当者に着実に周知していくことが必要である。
- ・育成研修課題「地域ごとに歴史的建造物の発見・調査・改修・活用の提言をおこなう」では、グループごとに発表を行った。今後、地域において所有者や管理者、行政との調整は必要不可欠であり、コーディネーターとしての第一歩を踏み出したと同時に、地域ネットワークも見えてきた。